

丸中健児 学びの道しるべ

令和3年 10月18日
小松市立丸内中学校

1 全国学力・学習状況調査結果（本校と県・国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	平均並み	大きく上回る
数学	上回る	大きく上回る

※新学習指導要領の趣旨を踏まえ、令和元年度より従来のA問題（知識・技能等）とB問題（活用等）という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題となりました。

国語について県と同程度で、全国平均を大きく上回る結果となりました。

数学では、県並びに全国を上回る結果となりました。

本校の特徴として、どの教科においても、説明したり、表現したりする記述式の設問において課題が見られます。

2 設問ごとの良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

国 語	
◎小説において、文脈の中における語句の意味を理解すること、場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する設問については、概ねよくできていた。	
◎メール文の続きを書くという設問では、伝えたい内容を効果的に伝えるように書くことができた。	
△文脈に即して漢字を正しく読むことに課題が見られ、漢字の読み書きが不十分である。	
△「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」ことに対する設問については、正答率も低く、無回答率も高かった。条件に合うように記述することができていない。文章を適切に引用することや引用した表現から自分の考えを具体的に書くことに課題が見られる。【記述式】	
数 学	
◎目的に応じて式を変形したり、その意味を読みとったりして、事柄が成り立つ理由を説明する設問については、概ねよくできていた。	
◎ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現する設問については、概ねよくできていた。	
◎全体的に学習用語や基礎計算の定着、表現力の向上が見られた。毎授業開始時に行う「音声計算カード」によるペア学習の成果と思われる。	
△平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの原因を説明する設問については、正答率が低かった。【記述式】	
△関数の意味の理解について、日常生活や社会の事象を数学化する過程でのつまずきがみられる。日常生活や社会の事象を数学的に捉えることが今後の課題と考えられる。	

学力とは、豊かな人間性、体力、健康とともに、子どもたちが生きるために大切な力です。なお、本学力調査は学力の特定の一部を推し量るものです。

3 質問紙調査の結果から良好なもの(◎)と課題となるもの(△)

- ◎難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとしている生徒の割合が高い。
- ◎地域行事への参加、地域や社会を良くするために何をすべきか、考える生徒の割合が高い。
- △携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている生徒の割合がやや低い。
- △家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合がやや少ない。
- △学校で、コンピュータなどの ICT 機器を使用して、他の生徒と意見を交換したり、調べたりする頻度が少ない。



4 全国学力調査、質問紙調査の結果を踏まえた取組について

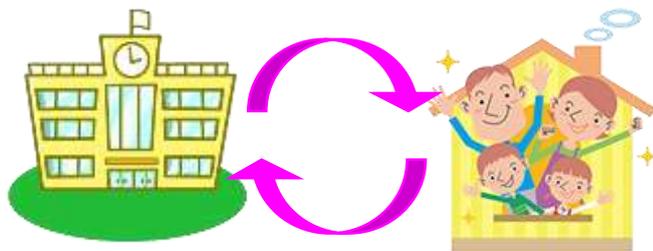
学校での取組

基礎基本の定着に向けて

- ・単元見直し学習を推進するとともに、学びの自覚を促す振り返り活動を実践する。
- ・家庭学習強化週間を設け、学習計画の指導や評価をし、生徒に学習習慣を身に付けさせ、主体性を高める。
- ・朝学習におけるタブレット端末の活用を通じて、ドリル学習を行う。
(1年生)

活用力の向上に向けて

- ・自分の考えを持ち、生徒同士で学び合う学習活動を通して自分の考えを深め、広げる授業づくりを推進する。
- ・自分の考えを発表する場面では、資料や文章、話の組み立てを工夫して発表させ、思考力や表現力を高める。
- ・タブレット端末を積極的に活用した授業実践に努める。



生徒会活動との関連

- ・学級活動などを利用して、タイムリーな話題についてクラス全体で話し合う生徒会企画の丸中ディスカッションを定期的に行う。

ご家庭にお願いしたいこと

- ・起床・就寝時刻や食事等、規則正しい生活習慣になっているか、見直しましょう。
- ・ご家族と一緒に食事をするなどして、親子の会話の時間をつくりましょう。その際、学校からの通信やホームページなどを積極的に活用していただくと幸いです。
- ・インターネットやゲームについては、ご家庭でルールを決めて、節度をもたせて、使用させるようにしましょう。

家庭と学校が連携して 健やかな子どもの育ちを見守りましょう。